



ES! ES! エスディーゼズ SDGs

問 / 市長戦略課SDGs推進室 (☎ 58-2220 ㊚ 58-2291)

SDGsってなんだろう？

SDGs (Sustainable (サステイナブル) Development (デベロップメント) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことで、経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

目標 12 つくる責任 つかう責任

12 つくる責任
つかう責任



『生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう』

目標 12 には 11 のターゲットがあります。

例えば、ターゲット 12 - 5 には、『2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル、リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。』となっています。

公益財団法人日本 unicef 協会ホームページから引用



「責任ある行動」ってなんだ？

つくる人もつかう人も、自分たちが住む大切な地球を守るための行動をすることよ。



みんなで工夫して、無駄をなくそう

私たちはエネルギーを大量に使ってモノを生産し、消費しています。今や世界人類が使っている資源の量は、地球が再生産できる資源をはるかに超えています。このままでは、地球の資源はなくなり、さらに人類の活動が自然環境を悪化させて、将来、住み続けられなくなってしまうといわれています。

だからこそ、モノをつくる側も、つくり過ぎず、環境に優しいモノをつくる。つかう側も、買い過ぎない、簡単に捨てないなど環境に負担を掛けない取り組みが必要となっています。その取り組みが、「3R (スリーアール) 活動」です。

- ・ **Reduce (リデュース) = ごみの発生を減らすこと**
- ・ **Reuse (リユース) = 繰り返しつかうこと**
- ・ **Recycle (リサイクル) = 資源として再生利用すること**

私たちの生活の中でできる3Rは、「マイバックを持参する」「食材を買い過ぎず、食べ切る」のほか、「モノを大切に長くつかう」「リサイクルで生産された商品を選ぶ」「ごみの分別をする」などがあります。一人一人の取り組みが、かけがえのない地球を守ることに繋がっていきます。いつまでも住み続けられる未来のために、できることから始めてみませんか。

市内企業でも3R活動が行われています。その取り組みを身近に体験してもらうため、12月25日、小松マテレのfa-bo (ファーボ) で市内小学生の親子20名を対象に「のみSDGs市民ワークショップ」を開催しました。

参加者たちは、タマネギの皮などの成分を配合した染料を使った染色体験や、工場で不要になった端切れを活用したクッション作りやミサンガ作りを通じて、本来、捨てられるはずのものに価値を加えて再利用する「アップサイクル」を学びました。小学生の一人は「物を捨てる前に何かに活用できないか考えるようにしたい」と話していました。

このほか、同社の染色技術と歴史、繊維の未来について学び、工場の様子を見学しました。

SDGsに取り組む市内企業の魅力を知ること、子どもたちが将来、市内企業への就職を考えてくれたらいいですね。



「のみSDGs市民ワークショップ」において、捨てられるはずの作物から生まれた染料を使った染色体験を楽しむ子どもたち